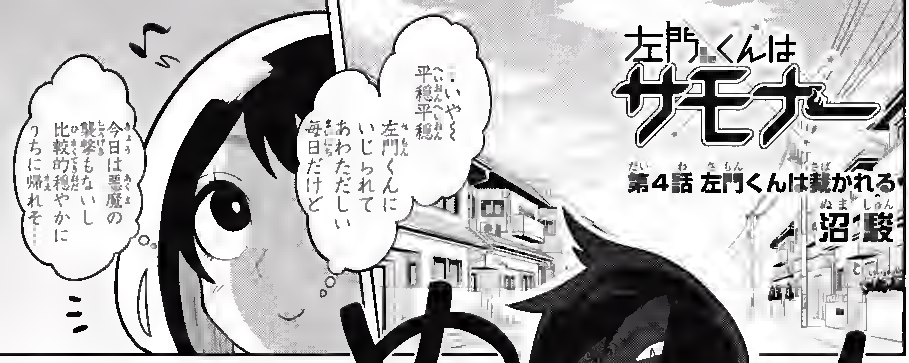
左門くんはサモナー

第4話 左門くんは裁かれる

沼駿



油断した
天国から地獄とは
正にこのこと…

あの悪名高い
左門百介と
親しいらしいな

やっぱり
左門くん
がらみの悪魔

ガッ

ひぇッ

…苦労して
いるな…

気の毒に…

ビっ!

今まで一人できぞ
辛かっただろう

もう泣き寝入り
することはない!!
共に戦おう

あ、

悪魔が人間の
百倍優しい…。

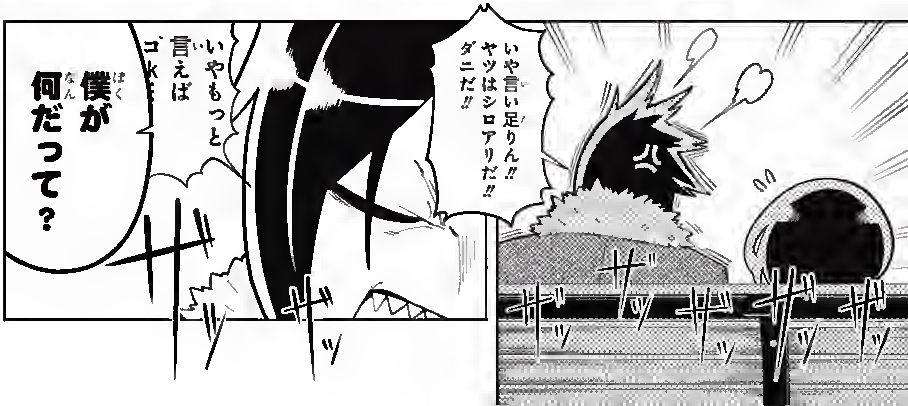
世も末だと
思う私であった

算文公園
いいや
ビックリ
しました
てっきりまた
命を狙いにきた
悪魔かと…
ええと…
でも私みたいな
人間は悪魔に嫌われる
って聞きましたけど…
左門くんから
ふむ…たしかに
そういう悪魔も
いるだろう
だが俺は
守る相手を
人か悪魔かで
選びはせん
この人が
主人公やれば
いいのに!!
俺の名か？
ネビロスだ
まぁそう思っても
無理はないが俺は
君の味方だよ

それに俺自身
左門に長年苦しめ
られている身…
他人事とは
思えんしな

そんな俺は
「左門召介
被害者の会」の
会長も務めている

入会
したい!!



週刊少年ジャンプ

やぁネビロス
久しぶり

左門貴様
いつの間に

こっちの
台詞だ
天使ヶ原さんの
そばに悪魔が出たと
思って来てみれば…

相手はお前か
ネビロス…妙な
取り合わせだな

おわ
左門くんが
「お前」呼び

まぁ
天使ヶ原さん
みたいな「良い人」
とは話が合うのか
お前 悪魔の
くせに真面目
だもんな
ネビロス

「ネビロス
少将閣下」だ
無礼者が

はいはい
閣下閣下
かっかすんな
閣下

貴様

ガルル…

…少将？
閣下？

…改めて
名乗らせて
もらおう

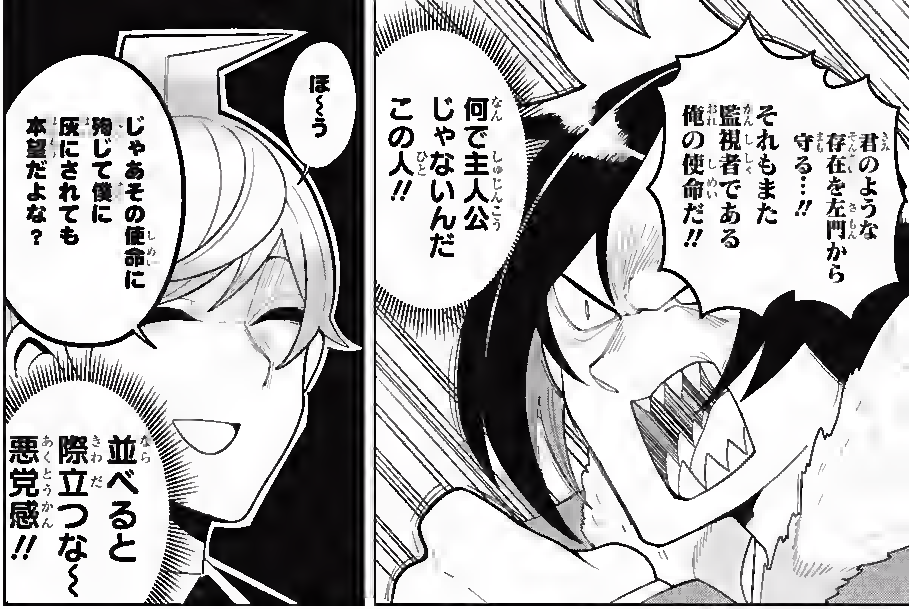
アスタロト麾下
「赤き竜の六柱」
第五柱
バ
バ
地獄の
総監督官にして
少将ネビロスだ
ネビロス
各地の悪魔の軍勢を
監視する地獄のNo.8
能力:???
ヒソ…
…もしかして
すごくエライ?
ヒソ…
天使ヶ原さんが
会った中じゃ
一番大物だよ
・・・
・・・

地獄の
三大支配者の下に
六人の大悪魔がいて
こいつはその五番手
つまり地獄で
八番目に偉い
へへえ…
むしろその大物に
タメロの君は
何者なんだよ!!
でもなんか
仲悪そうだね
お二人は…
指を
さすな

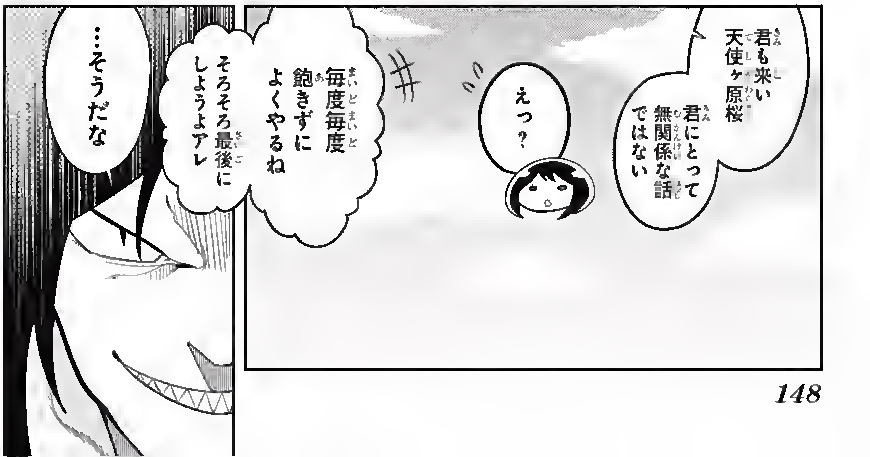
仲悪いなんて
もんじゃないね
僕たちは
ネビロスは
悪魔の軍勢を
取り仕切る
総監督官
僕はそこから
悪魔を「拝借」
する召喚術士
お互い
相手が邪魔だ
ケンカにならない
わけがない
ピピーッ

はぁ…
天敵同士…
みたいな？
というより
好敵手
…かな

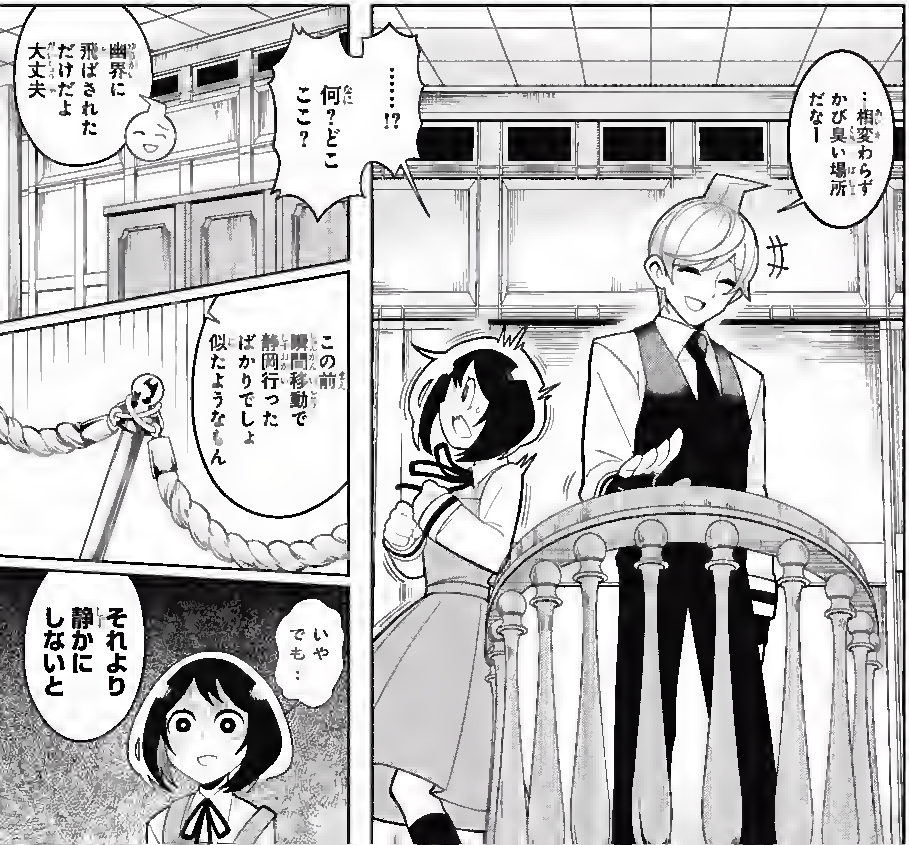
基本他人を
見下す風な
左門くんが
対等に
見てる…？
仕事柄左門を
監視していると
天使ヶ原桜
君の存在も
同時に知った
君の受けた
責め苦の数々…!!
怒りを覚えずには
いられない…!!
ぐっ…!!


君のような存在を左門から守る…!!
それもまた監視者である俺の使命だ!!
何で主人公じゃないんだこの人!!
ほ〜う
じゃあその使命に殉じて俺に灰にされても本望だよな？
並べると際立つな〜悪党感!!

…まあいいや
…で？お前が来たってことは恒例のアレまたやるの？
当然だ
「アレ」？
？


君も来い天使ヶ原桜
君にとって無関係な話ではない
えっ？
毎度毎度飽きずによくやるね
そろそろ最後にしようよアレ
…そうだな

お前の最期にしてやるさ
ブワァア
!?
……!!
……?
パチッ


……相変わらずかび臭い場所だなー
……!?
何?どこここ?
幽界に飛ばされただけだよ大丈夫
この前瞬間移動で静岡行ったばかりでしょ似たようなもん
いやでも…
それより静かにしないと

※プライバシーと光に弱い系の魔族保護の為、スモークを焚いております。

被告人は悪魔学
召喚術を究め
高位の悪魔を
好き放題に召喚!!

悪魔の秩序を
乱している!!

最近では
登下校に俺の
直属の部下を
使う始末

悪魔の監視者
として断じて
見過ごせん!!

※グラシャ=ラボラス

ケチケチ
すんなよ
少将閣下

愚民の
やること
だからさ～

ふざけるな
メンツの問題だ

俺のラボラス

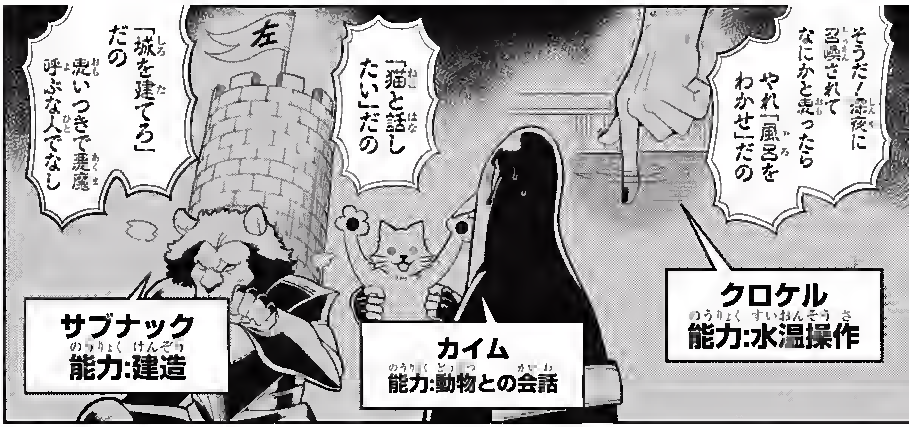
貴様ら庶民の
感覚で言えば
俺はな貴様…

貴様に毎日
チャリパクされてるも
同然なんだぞ!!

閻下の
庶民感覚
涙出てくる!!

「地獄の狂犬」と恐れられる部下たちがナメられたらどうしてくれる
大丈夫だって心配しすぎだよ
グラシャ＝ラボラス
ケルベロス

たとえ皆がお前の部下を馬鹿にしたとしても…
僕はお前の方をナメてるよ
ナメてんじゃねーよ
この野郎が…不満があるのは俺だけじゃないぞ


そうだ！深夜に召喚されてなにかと思ったらやれ「風呂をわかせ」だの
「猫と話したい」だの
「城を建てろ」だの鬼いつきで悪魔呼ぶな人でなし
左
クロケル
能力:水温操作
カイム
能力:動物との会話
サブナック
能力:建造

俺もいきなり呼ばれて異教の悪魔と戦わされたわ
私もよ横暴だわ
俺も左門の為に働かされて…
左門くん色々やってんな～ッ!!

私は静岡で会社の席に落とされました…
先輩だアレ!!
ヘヒモス

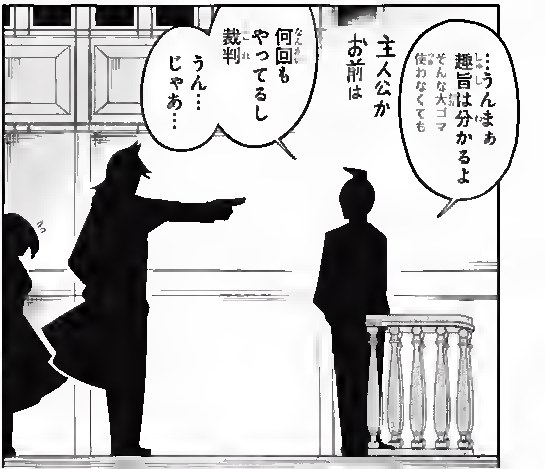
そして今回
左門の毒牙はこのいたいけな天使ヶ原嬢にまで及んだ!!
ビッ!
え!?
私!?
左門は彼女に悪魔を使った迷惑行為を働いている!!
ここんな少女に毛手に
どよ.!
おのれ左門

彼女は今現在も毎日のように悪魔からの誘惑を受け心身ともにボロボロだ
な…
何だって
なんてむごいんだ
ひでえことしやがる
十代の少女が受けた心の傷は計り知れない!!

辛かったな少女よ
いやあのすいません ちょっと…
いやほんと…
もう心配いらない俺たちがついてるぞ
なんて強い子なんだ
そんな優しくされると…ちょっと…

ちょっと…すいませ…
いいのよ泣いていいのよ
一人じゃないんだぜ
よくがんばった
この悪魔達ぬくもりハンパない…!!

聞いたか!!
ここにいるのは
俺を含め全員
貴様の被害者
この場で
貴様の罪を
糾弾し…
然るべき罰を
与えるのが
この裁判だ!!


…うんまぁ
趣旨は分かるよ
そんな大ゴマ
使わなくても
主人公が
お前は
何回も
やってるし
裁判
うん…
じゃあ…

そろそろ
帰っていい?
はっ!?

いいいわけあるか裁判の最中だ

だっていつもこのあたりでグダグダになるし…

ふん！逃げられると思うなよ左門 貴様は死後地獄で永遠に強制労働だ

あ!?待て!! こいつは死んだらゴミ虫に転生させるんだよ

おぉん!?

あぁん!?

おめーら 公衆だな 引っ込んでろ

輪廻とか来世とか ローカルルール 持ち出すなタコ

何だと てめー どこ教だ

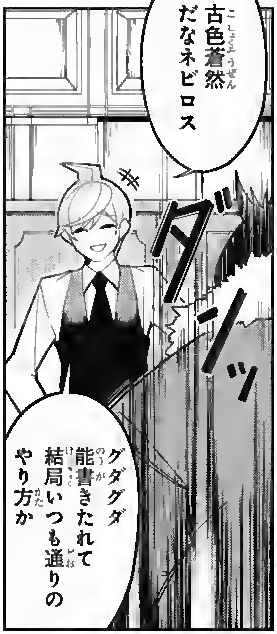
呪い殺すぞ

静粛に 静粛に

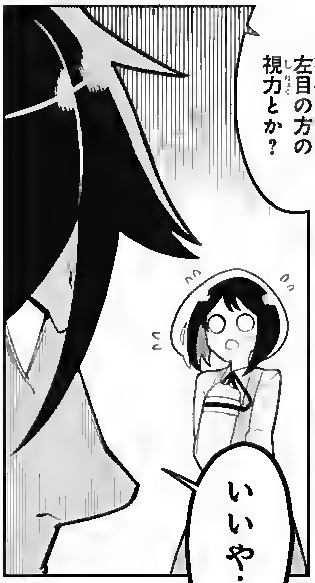
被害者の会ーッ!!

くっ！やはりこれだけ他宗派の悪魔が揃っては足並みが揃わない 今回も議論はまとまらんか

皆を納得させるには「あの方式」しかない！


古色蒼然
だなネビロス
ダンッ
グダグダ
能書きたれて
結局いつも通りの
やり方か

決闘だ!!
代表として俺が
左門と戦う
貴様が負けた時は
罪に見合った代償を
払ってもらうぞ
少年誌
方式!!


別にいいけどね
今回は僕の
何を賭ける?
うおーッ
ネビロス様ーッ
殺ぜーッ
待ってましたーッ
寿命?
それとも
左目の方の
視力とか?
いいや…

天使ケ原桜
この少女だ
は!?
俺が勝ったら
二度と彼女に
近づくな

…へー
そんなので
いいんだ?
別に
どうでもいい
けどそんな人
あの私
関係なく
ないです?
ねぇ…?
ちょっと…?
強がる
なよ左門
近頃の貴様の
彼女への執着は
知っている

そして我が勝利の
暁には責任をもって
彼女を保護しよう
二度と手出しは
できんと思え
左門召介!!
クックックッ
わぁーッ!!正直
こっちに寝って
ほしい気持ちも
兼じえない!!
…心底
どうでも
いいな
保護なり
なんなり好き
するといい
勝手にしろ
…ただ

僕が彼女を地獄に叩き落としてからの話だな
それまで引っ込んでろネビロス
邪魔だ
フッ…お前の人間らしい感情が見れて愉快だがな左門
残念ながらお前は今日限りで彼女とお別れだ
「赤き竜の六柱」第五柱ネビロスの名において…
ボ
ボ
ボ
ボ

ボ
ぶっ裁いてやる
あぁ〜っ
あるある！少女漫画とかで見たことあるこういうの！
「私を巡って男の子達のバトル勃発!?」とかそういう
…そういうレベルじゃねぇなコレ!!
Vs
地獄の総監督官
少将ネビロス
超凄腕召喚術士
左門召介
左門くんはサモナー
第4話
おわり